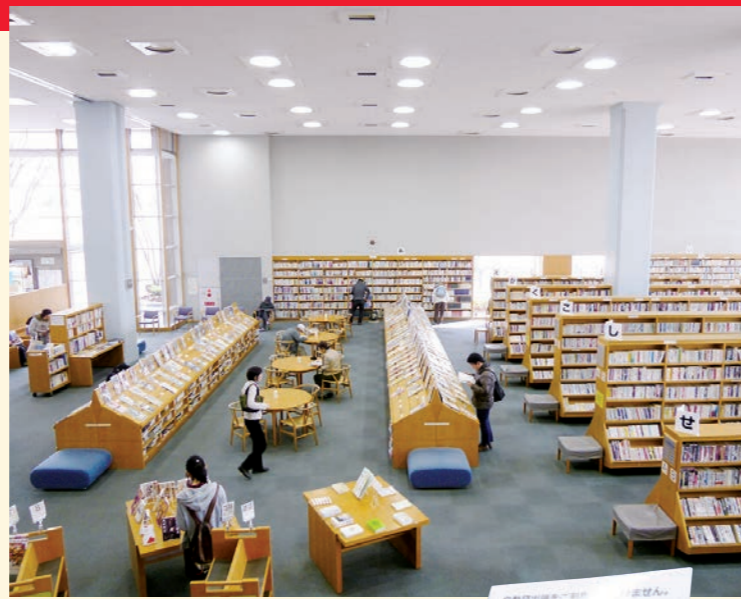


# 茨木市立中央図書館 リニューアル



## — あなたの本棚、ここにあります。—

平成27年10月に始まった茨木市立中央図書館の改修が1月末に終わりました。空調設備の更新やトイレの改修が主な目的でしたが、フロアの照明をLEDにして天井に埋め込まれたので空間が広がったように感じます。さらに、いろいろな電子機器が新しく導入され、本を探したり借りたりしやすくなりました。

### 総合案内係を配置

本が見つからないときなどに案内します。

### 予約本の受け取りコーナー

予約照会機に「貸出カード」をかざすと、タイトルと予約本棚の番号を表示します。その棚から本を取り出し、貸出機で手続きすれば借りられます。



### 新しい貸出機

「貸出カード」を読み込ませた後、借りる本を重ねて置くと自動的に読み取って貸出レシートが印字され、貸出完了です。(きっちり揃えない方がよく読み取ります)



### 検索用PCリニューアル

検索や読書案内などが見やすく便利になりました。



### 貸出冊数拡大

全館で合計して  
 図書 20冊  
 CD 8点  
 ビデオ 4点  
 まで借りられます。

### ホームページリニューアル

図書館のホームページリニューアル

インターネットで予約ができる冊数が増えました。「こどもページ」や「さいきんのできごと」など新しいページができました。ログイン後のご自身のページ内の「My本棚」でお気に入りの資料リストを作れます。  
<http://www.lib.ibaraki.osaka.jp>



お問い合わせ 茨木市立中央図書館 072-627-4129



# 「みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち」

## —茨木市文化振興ビジョンを説明します—

### ◆文化振興ビジョンとはどんなこと◆

茨木市をより魅力的なまちにしていけるために、文化のまちづくりの理念と目指すべき方向性や体制を定めたものです。平成27年3月に策定され、今後10年間の文化芸術振興の指針となります。

### ◆取組の方向性と重点目標は何ですか◆

- 1 市民との協働による文化のまちづくり
- 2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり
- 3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成
- 4 郷土への愛着心 の形成
- 5 文化のまちとしてのブランド形成

### ◆活発な文化芸術活動の支援◆

市民による文化芸術団体が交流する機会を設け、相互に協力し合うことのできる関係づくりを促進します。また、発表する場の提供や公募型補助金交付などを通して積極的に支援していきます。

### ◆茨木市の文化的特性を活かしたまちづくりとは◆

#### (1) 茨木らしさを活かしたブランドづくり

例えば、川端康成とのゆかりやキリシタン遺跡、茨木童子などをもっとPRしてブランドをつくることです。また、新しい音楽祭や芸術祭などを市全体で盛り上げて作ることも考えられます。

#### (2) 文化芸術の担い手を育成

今取り組んでいる HUB-IBARAKI ART COMPETITIONもその一つです。若手アーティストを発掘して発表の場を提供するもので、今後もこのような取り組みを継続・発展させることです。

#### (3) 取り組みや催し物の情報を多くの人々に知ってもらう工夫

HPやフェイスブックなどのSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を活用して集客によるにぎわいを創り出すことです。



## ハブ-イバラキ アート コンペティション 2015

### テーマ

まちと創造する未来文化都市  
 アートと人々の出会いの場、みらいの文化都市をまちの人たちと創造。

今年度は全国から19点の応募があり、1点が選出されました。

2016年8月15日(月)まで展示  
 市民総合センター(クリエイトセンター) エントランスにて

2015選出作品「茨木の話」牛島 光太郎



2014年選出作品  
 「歯車のオルゴール」つちやあゆみ



2013年選出作品  
 「ローズゲート」藤本 絢子

